



文化庁

平成22年度優れた
劇場・音楽堂からの
創造発信事業

Chorus Ohyama
第15回演奏会 *0*

合唱団おおやま
with オーケストラ。
アンサンブル金沢

2010

Chorus Ohyama
with Orchestra Ensemble
Kanazawa

とき／2010年8月29日(日) 13時30分開場 14時開演 ところ／富山市大山文化会館

主催／富山市・合唱団おおやま・(財)石川県音楽文化振興事業団 共催／北日本新聞社 後援／FMとやま



混声合唱組曲

ティオの夜の旅

- [1] 祝福
- [2] 海神
- [3] 環礁
- [4] ローラ・ビーチ
- [5] ティオの夜の旅

作詞／池澤 夏樹
作曲／木下 牧子



ふるさと

作詞／高野 辰之
作曲／岡野 貞一
編曲／榊原 栄



レスピーギ

“リュートのための 古い舞曲とアリア” 第3組曲

Ottorino Respighi Antiche danze ed arie per liuto No.3

- [1] イタリアーナ Andantino 変ホ長調
- [2] 宮廷のアリア Andante cantabile ト短調
- [3] シチリアーナ Andantino ハ短調
- [4] パッサカリア Maestoso ト短調



フォーレ

“レクイエム” (ラター編曲)

Gabriel FAURÉ “REQUIEM” John RUTTER edit.

- [1] Introit and Kyrie—レクイエム・エテルナム～キリエ・エレイソン [合唱]
- [2] Offertory—オ・ドミネ・イエズ・クリステ、レクス・グロリエ [合唱、バリトン・ソロ]
- [3] Sanctus—サンクトゥス・ドミヌス・デウス・サバオト [合唱]
- [4] Pie Jesu—ピエ・イエズ・ドミネ、ドナ・エイ・レクイエム [ソプラノ・ソロ]
- [5] Agnus Dei—アニュス・デイ、クイ・トリス・ペッカー・ムンデイ [合唱]
- [6] Libera me—リベラ・メ、ドミネ、デモルテ・エテルナ [バリトン・ソロ、合唱]
- [7] In Paradisum—イン・パラディズム、デドゥカント・アンジェリ [合唱]

〔曲目解説〕

1 1983(昭和58)年、東京外国語大学混声合唱団「コール・ソレイユ」の委嘱により作曲された。木下牧子のデビュー作「方舟」に続く2作目である。歌詞は、1987年の芥川賞作家である池澤夏樹の詩集「塩の道」より抜粋された。

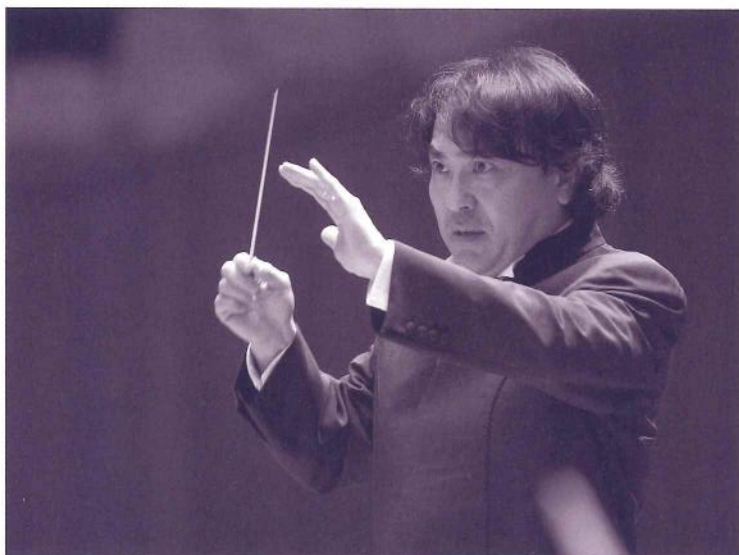
1992年にティオを主人公とした短編集「南の島のティオ」が出版されているが、それによれば、ティオは、南の島(モデルはミクロネシアのポナペ島だそうだ。)のホテルの経営者の子供で、12歳である。1曲目の「祝福」から4曲目の「ローラ・ビーチ」までは、南の島の海と空と砂浜と環礁の美しい風景、そしてゆったり流れる一日が描かれている。2曲目「海神」の8分の6拍子やその他の曲でも多用されるゆったりとした3連符は、波打つ海を連想させる。一転して5曲目では、ティオの夜の不思議な体験が、饒舌(じょうぜつ)な歌詞と転げるように加速していく曲によって多弁に語られている。抒情的で美しいハーモニーとときおり現れるユーモラスな動き、木下牧子の魅力満載の組曲である。

3 オットリーノ・レスピーギ(1879-1936)はイタリアの作曲家・音楽学者・指揮者。レスピーギ作曲の「リュートのための古い舞曲とアリア」は3つの組曲がある。これらは、15、6世紀頃の弦楽器であるリュートでそのころ演奏されていた曲を、4曲ずつ管弦楽用にアレンジしたものだ。作者のレスピーギは、ローマのサンタ・チェチリア音楽院教授になってから、その図書館で昔の作曲家の作品を調べるのを楽しみとしており、その中から気に入ったものを自己の管弦楽法でアレンジしていたが、この曲もそのひとつである。

第3組曲は1931年に作曲され、32年1月にミラノの音楽院で、作曲者自身の指揮により初演された。この組曲は弦楽合奏または弦楽四重奏で演奏される。この中でもっとも有名な第3楽章「シチリアーナ」は、シチリア島起源の舞曲で、付点音符を好んで用いられた抒情的な作品であるが、カゴメ(株)の瓶入りパスタソース「アンナ・マンマ」のテレビCMで使用された。また、平原綾香がアルバム「そら」と「My Classics!」の中の1曲として、自分が作詞して歌っている。

4 「レクイエム」とは、死者のためのミサ曲のことで、亡くなった人の安息を祈るカトリック教会の儀式(ミサ)の際の音楽を指す。歌い始めの言葉が「レクイエム」であることからこう呼ばれている。古今、数多くの作曲家によって作曲されているが、フォーレのレクイエムは、モーツァルト、ヴェルディのレクイエムと並び3大レクイエムと称されている。合唱団おおよまでは平成15年の第8回演奏会で取り上げているが、結団15周年の第15回記念演奏会の曲として再度取り上げたものである。今回は小編成のラター編曲版で演奏する。

モーツァルトやヴェルディなど通常のレクイエムが、入祭唱(レクイエム)、キリエに続いて劇的なディエス・イレ(怒りの日)があるのに対して、本曲ではディエス・イレは除かれ、また、通常終曲であるリベラ・メの後にまさに天上的なイン・パラディズム(楽園へ)を加えている。さらに、曲全体を通して、他のレクイエムのような劇的な要素は極力排除され、つましい禁欲と節度の中に、中世の教会調の旋法やフォーレ独特の近代的な調性感覚と和声法により、美しい響きと個性的な魅惑がかもし出されている。



山下 一史(指揮)

1984年桐朋学園大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年～1989年までカラヤンのアシスタントをつとめ、急病のカラヤンの代役をジーンズ姿で務め話題となる。ヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)首席客演指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者を歴任。また、2002年より大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者を務め、2008年4月より同団名誉指揮者に就任。2006年より仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者として迎えられ、CD制作を行うなど積極的な活動を展開。2009年4月からは同団正指揮者に就任。2009年4月には Санктペテルブルク交響楽団定期に出演し、大成功を収めた。現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。



内山 太佑(バリトン)

富山県上市町出身。ドイツ・ヴェルツブルグ在住。2010年ドイツ国立ヴェルツブルグ音楽大学オペラ科卒業。現在同大学大学院在学中。2007年度アルミン・クナー声楽コンクール第二位。これまでに同大学での定期オペラ公演に多数参加。ヴォルフ・フェラーリ「好奇心の強い女たち」レリオ役をはじめモーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」マゼット役、ロッシーニ「結婚手形」トピア・ミル役、バーンスタイン「タヒチ島の騒動」サム役、ツェムリンスキー「小人」ドン・エストバン役など幅広い役柄で活躍。オペラ科卒業試験でのダンディーニ役(ロッシーニ「シンデレラ」)で、非常に高い評価を得る。

2004年、ハノーファー州立歌劇場にてヨハネス・ハルナイト指揮、ペーター・コンヴィチユニー演出でルイジ・ノーノの現代オペラ「慈愛に満ちた偉大な太陽のもとで」、ならびにコンラート・ユングヘーネル指揮、渡辺和子演出『バーセル、バロック音楽と舞台-Evening Hymn』に出演。フライブルグ市立歌劇場にて、2008年ルッツ・ラーデマッハ指揮、マルクス・ロップス演出でベンデレツキの現代オペラ「ルダンの悪魔」、2010年ジミー・チャン指揮、カリスト・ビエイト演出。リゲティ作曲の現代オペラ「グラン・マカーブル」に出演。オペラ以外にも歌曲や、宗教曲のソリストとして活躍している。

内山太一、エンドリク・ヴォットリッヒ、レアンドラ・オーヴァーマンに師事。



村上 麻理(ピアノ)

洗足学園大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業、同大学専攻科修了。

黒田素子、増田真理子、マックス・エッガー、横山幸雄、加藤徹各氏に師事。

1991年～1996年富山広域圏文化交流事業クラシックシリーズ・富山テレビクラシックシリーズにてソロリサイタル出演。

1998年～2001年新ブダペスト弦楽四重奏団とシューマン「ピアノ五重奏曲」を共演、日本・ポーランド国交樹立80周年記念。

コンサートショパン物語出演、ルビンシュタイン弦楽四重奏団とピアノ五重奏曲を共演。また、室内楽、歌曲、管楽器等の伴奏でも活躍している。2005年立山町音楽協会主催招待音楽会で「とやまレディーズ・オーケストラOASIS」とモーツァルトのピアノ協奏曲を共演。

2005年富山県芸術文化協会奨励賞表彰。現在、富山県立保育専門学院非常勤講師・ミヤコ楽器店ピアノ科指導講師・富山県ピアノ指導者協会委員・合唱団おおやま、コロバスターレ専属ピアニスト。

河内 麻美(ソプラノ)

新潟大学教育学部教員養成課程特別教科(音楽)卒業。声楽を箕輪久夫、浅岡光代の各氏に師事。

丘声会オペラ<月の世界>フラミーニア役、<あまんじゃくとうりこひめ>うりこひめ役などを務める。第3回北陸新人登竜門コンサートのオーディションに合格し、2004年にアンサンブル金沢と共演。現在、富山シティエフエムのパーソナリティー。





Chorus Ohyama
合唱団おおやま



合唱団おおやまでは、
団員を募集しています。
随時、練習の見学を歓迎します。
お問合せは富山市大山文化会館
(076-483-0001)まで。

<http://ww2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

合唱団おおやま

検索

ソプラノ

岩竹 幸絵 / 岩竹 李奈 / 岡本 祀子 / 岡本 洋子 / 桶谷 桃子 / 高橋 真由美 / 谷崎 キミ子
谷崎 千紗 / 谷崎 千鶴 / 千葉 多恵 / 原田 美里 / 山崎 忍 / 山崎 陽子 / 吉田 奈央

アルト

麻島 利子 / 稲垣 聖子 / 井上 澄子 / 奥野 知子 / 桶谷 道子 / 片山 美富里 / 木村 まゆみ
五井 礼子 / 小泉 康子 / 高木 茂子 / 寺林 美穂子 / 仲井 葉子 / 中川 律子 / 長原 啓子
平崎 康子 / 村椿 伸子

テノール

井内 学 / 大崎 晴夫 / 埜崎 友宏 / 牧 重和 / 三羽 康嗣
山崎 勝幸 / 山田 三佳

バス

窪田 英史 / 立花 睦英 / 谷崎 修一 / 中村 諭 / 野入 豊光
松井 輝 / 丸山 隆 / 宮元 美信

合唱指揮 内山 太一

武蔵野音楽大学声楽科卒 ミュンヘン国立音楽大学声楽科卒。シューベルトの三大歌曲集「美しき水車
小屋の娘」「冬の旅」「白鳥の歌」等ドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。藤原歌劇団公園のオペラや
メサイア、ベートーベン第九等数多くのコンサートに出演。NHKFM等ラジオ、テレビにも出演。

1993年再度一年間ドイツに留学。これを機に故郷上市を拠点に演奏活動を展開している。合唱団おおやまの他、入善混声合唱団、男声合唱団「ジョイフル・フレンズ」、黒部第九を歌う会、上市町子供の城児童合唱団、大地の会女声合唱団等の指導。

元武蔵野音楽大学声楽科講師 元洗足学園魚津短期大学声楽科講師、声楽研究グループ 大地の会主宰

Orchestra Ensemble Kanazawa

オーケストラ・アンサンブル金沢

1988年、世界的指揮者、岩城宏之が創設音楽監督(現在、永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。2001年金沢駅前に開館した石川県立音楽堂を本拠地とし、世界的アーティストとの共演による年20回の定期公演や、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約120公演を行っている。これまでに行ったヨーロッパ、オーストラリア、アジアを含む海外公演は14回に及ぶ。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンスを実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。ジュニアの指導、学生との共演、邦楽との共同制作などオーケストラ育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。メジャーレーベルより70枚を超えるCDを発売。07年1月より、指揮者の井上道義を新音楽監督に迎え、新たな活動を展開して注目を集めている。08年より開催されている世界的音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ金沢」の中心的役割を担っている。

